

平成25年度(2013年)石油技術協会
春季講演会
シンポジウム・個人講演プログラム

平成25年6月27日(木)～28日(金)

於：東京 国立オリンピック記念青少年総合センター

地質・探鉱部門 シンポジウム
 課題は果されたのか？－物理探査技術の現況と将来－
 Geophysical Exploration Technology,
 Present Status and Next Generation

6月27日(木) センター棟 310号室

シンポジウム統括：河合 展夫（地科研）

シンポジウム運営：小椋 伸幸・及川 透・加藤 新（石油資源）

セッション進行：伴 英明・松山 隆（国際帝石）・久保 国雄（JX 日鉱日石開発）・高梨 将（JOGMEC）・松島 潤（東大院・工）・稲盛 隆穂（地科研）

概要： 石油探鉱・開発の歴史において近年の大きな技術革新は何かと聞かれると、三次元地震探査技術および掘削技術の進歩であると言われることが多い。また三次元地震探査技術については、単に二次元から三次元に移行した技術革新のみではなく、絶えず進歩している最新物理探査技術の適用により、従来では開発が困難であった薄層・フラクチャー・低浸透率などの特徴を有する貯留層などについても、形態およびその性状がより精度高く推定可能となっており、その結果が新たな埋蔵量の確保につながっていることはご存知の通りである。

同様にポテンシャルは認められているものの未だ良い成果が得られず、新たな物理探査技術の適用を継続して試みられている探鉱ターゲットもあり、更にこれまでの開発の限界となっていた大深度・大水深・高緯度地域などにおいても開発技術の革新とともに探鉱ターゲットの範囲が拡大されており、これら探鉱対象に対しても新たな物理探査技術の適用が進められている。

本シンポジウムでは、新たな物理探査データ取得方法から、より複雑な構造に対する精度の高い地震探査イメージング手法、また複数の物理探査データを用いた統合的な物性評価方法など、物理探査技術の現況をレビューするとともに、近い将来に適用されると考えられる最新物理探査技術の動向についても紹介する。

本シンポジウムを通じ、これら物理探査技術に対する理解を深め、それら技術の新たな適用に進み、その結果が新たな探鉱成果につながることを期待したい。

- | | |
|-------------------|--|
| 09:30 ~ 09:40 | 開会の辞..... 探鉱技術委員長 小椋 伸幸（石油資源） |
| (1) 09:40 ~ 10:40 | 基調講演「石油探鉱業とその将来展望における物理探査の役割」..... 松岡 俊文（京大院・工） |
| 10:40 ~ 10:50 | < 休 憩 > |
| (2) 10:50 ~ 11:30 | カンボジアにおける初めての本格的陸上地震探査
..... 峯岸 政人・清水 祥四郎・内藤 信二郎（三井石開）
..... 白木 秀明・佐藤 隆一・辻 喜弘（JOGMEC） |
| (3) 11:30 ~ 12:10 | マレーシア・サバ沖深海鉱区における Broadband + MAZ 三次元地震探査
..... 義山 智之（JX Nippon Oil & Gas Exploration (Deepwater Sabah) Ltd） |
| 12:10 ~ 13:10 | < 昼 食 > |
| (4) 13:10 ~ 13:50 | ガボン共和国沖合 Nguma 鉱区への Extended Elastic Impedance の適用例
..... 岡田 信（三菱商事石開） |
| (5) 13:50 ~ 14:30 | 反射法地震探査データ解析の定量化による岩相・流体予測－理論と実例－
..... 常山 太・高原 一峰・長友 晃夫
..... 谷岡 慧・榎本 美津郎・西塚 知久（出光 O&G） |
| 14:30 ~ 14:40 | < 休 憩 > |
| (6) 14:40 ~ 15:20 | 反射法地震探査データの減衰特性を利用した断層シール能力評価の試み
..... 鶴 哲郎（コスモ石油 現 JOGMEC）・佐々木 亮・占部 滋之（コスモ石油） |
| (7) 15:20 ~ 16:00 | 陸上屈曲二次元地震探査データを用いたフルウェーブインバージョンの適用
..... 亀井 理映・三善 孝之・Gerhard Pratt（西オンタリオ大）
..... 高梨 将（JOGMEC）・梶谷 将吾（国際帝石） |
| 16:00 ~ 16:10 | < 休 憩 > |
| (8) 16:10 ~ 16:40 | サブバサルト貯留層把握に寄与する地震探査の技術革新
..... 新部 貴夫・青木 直史（地科研）・高梨 将（JOGMEC） |
| (9) 16:40 ~ 17:10 | サブソルト地震探査の最新技術動向
..... 青木 直史・新部 貴夫（地科研）・高梨 将（JOGMEC） |
| 17:10 ~ 17:15 | 閉会の辞..... シンポジウム統括 河合 展夫（地科研） |

作井部門 シンポジウム
進歩する機器・素材と坑井デザイン
～多様化するデマンドへの対応～

Advances in drilling equipment, materials and well design
- How to meet diversifying demands?

平成 25 年 6 月 27 日 (木) センター棟 416号室

世話人：池田 正市 (国際帝石)・浦野 剛 (国際帝石)・田村 満夫 (国際帝石)・石井 美孝 (石油資源)・
武村 貢 (石油資源)・菅野 俊 (石油資源)・原田 敏雄 (JDC)・福島 直哉 (出光 O&G)・
佐藤 敬 (テルナイト)・長縄 成実 (東大院・工)・菅野 博仁 (三井石開)・古谷 昭人 (MQJ)・
福島 睦夫 (JDC)・豊田 佳祐* (国際帝石)*世話人代表

概要：近年の石油・天然ガス開発業界における掘削技術に対するデマンドは多様化しており、過去の掘削技術とは趣が異なるものが多々ある。例えば、世界では水深10,000ft級での掘削やUltra HPHT坑井(坑底圧力20,000psi、坑底温度400°F以上)の掘削が行われており、更には比較的深度は浅いものの長い水平坑井を短期間・低コストで多数仕上げるシェールオイル・ガス井の掘削など、難度の高い技術ばかりでなく、おびただしい坑井数の掘削を要求される場合もある。また、仕上げ方法としては、スマート仕上げやレベルが1～6に分類されるマルチラテラル仕上げ等が挙げられる。

これらのデマンドへ対応するためには、掘削技術はもとより掘削リグの能力、LWDに代表される検層ツールやMWD・RSS等の耐久性と信頼性、高深度・多段ケーシング計画を可能にする鋼管の性能及びサイズの多様性、厳しい条件下での泥水の環境安全性及び安定性、種々の温度域における充填セメントの安定性やシール性、BOPを含む坑口装置の信頼性等々、高い能力と信頼性が求められる。

本シンポジウムにおいてはこれらの問題に付き、その実績や経験等の情報を共有して現在直面している課題を浮き彫りにし、我々作井技術者がどのように対応していくべきかを討議する機会とした。

- 09:00～09:10 開会の辞…………… 作井技術委員長 池田 正市 (国際帝石)
- (1) 09:10～09:50 片貝地域におけるコスト削減および生産性向上の為の坑井デザイン
…………… 篠原 寛治・平田 実雄・青木 徹 (石油資源)
- (2) 09:50～10:30 ジャッキアップリグでの ERD/MRC 坑井掘削・仕上げの事例 …………… 松舘 仁 (国際帝石)
- (3) 10:30～11:10 国際陸上科学掘削超高温地熱掘削プロジェクト JBBP の実現に向けた技術開発
…………… 長縄 成実 (東大院・工)
- (4) 11:10～11:50 米国メキシコ湾での高温高压大深度坑井掘削について
…………… 菅野 博仁 (三井石開)
- 11:50～12:50 < 昼 食 >
- 12:50～13:30 討論会 : 坑井デザインの展望
- (5) 13:30～14:10 最近の資源開発用シームレス鋼管に求められる性能
…………… 佐倉 弘持・岡本 芳秀 (エヌケーケーシームレス鋼管)
- (6) 14:10～14:50 石油・天然ガス掘削技術の多様化に対応する油井管の材料と継手について
…………… 岩本 理彦 (新日鐵住金)
- 14:50～15:10 < 休 憩 >
- (7) 15:10～15:50 世界最新鋭のセミサブリグ国内開発…………… 山本 廣光 (JDC)
- (8) 15:50～16:10 炭素繊維強化プラスチックを用いた深海掘削用軽量マリライザーの検討
…………… 関 均 (三菱樹脂)・藤田 研 (三菱商事石開)
- (9) 16:10～16:30 逸泥対策用・混合ファイバー…………… 鳥口 能誠 (シュルンベルジェ)
- 16:30～17:00 討論会 : 機器・素材の展望

開発・生産部門シンポジウム
生産性・回収率向上に向けた産学の挑戦
**Challenges to improve productivity/
recovery factor by Industry and Academia**

平成 25 年 6 月 27 日 (木) センター棟 311号室

世話人：松原 修* (JOGMEC)・渡邊 一成 (石油資源)・寺本 哲郎 (国際帝石)・廣島 英樹 (アブダビ石油)・
網川 響吾 (JX 日鉱日石開発) *世話役代表

概要： 近年、開発が比較的容易な環境下にある大規模油ガス田の発見が困難となり、大水深、リモートエリア等のより厳しい環境での中小規模油ガス田開発や、シェールガス、シェールオイル、オイルサンド等に代表される非在来型資源の開発が主流に成りつつある。これらのフィールドにおいては、効率的な開発コンセプトを適用することと同時に、如何にしてより多くの炭化水素を回収するか、あるいは、生産性を如何にして向上させるかが経済性の改善、ひいては開発移行への重要な要素となる。

このような観点から、本シンポジウムでは「生産性・回収率の向上」をキーワードに、大学における基礎的な研究から実フィールドでの適用事例まで、産学において実施されている幅広い取り組みを紹介する。

- 09:00 ~ 09:10 開会の辞……………生産技術委員長 上田 善紹 (JX 日鉱日石開発)
- (1) 09:10 ~ 09:50 貯留層内ブロッキングによる掃攻率改善効果の検討
…………… 村田 澄彦 (京大院・工)・芦田 彬久 (石油資源)・高橋 悟・岡部 博 (JOGMEC)
- (2) 09:50 ~ 10:30 微生物 EOR ~ 「その他の EOR」からの脱却を目指して……………菅井 裕一 (九大院・工)
- (3) 10:30 ~ 11:10 CO₂圧入によるメタンハイドレート層からの増進回収法
…………… 増田 昌敬・安江 正宏 (東大院・工)・長尾 二郎 (産総研・MH)・赤坂 千寿 (JOGMEC)
- (4) 11:10 ~ 11:50 ベトナム洋上ランドン油田砂岩油層への随伴ガス攻法適用への取り組み
…………… 河原 洋平・高木 陸人・Nguyen Chu Chuyen (日本ベトナム石油)・
畠山 厚志 (JX日鉱日石開発)・西崎 愛子 (JOGMEC)
- 11:50 ~ 13:00 < 昼 食 >
- (5) 13:00 ~ 13:40 非在来型原油・天然ガスの生産性向上手法の紹介…………… 栗原 正典 (早大・創造理工)
- (6) 13:40 ~ 14:20 GeoFlow を用いたき裂型貯留層における優先流路分布の評価
……………渡邊 則昭・石橋 琢也・土屋 範芳 (東北大院・環境科学)・玉川 哲也 (石油資源)
- (7) 14:20 ~ 15:00 女川層タイトオイル開発に向けたフラクチャー型珪質頁岩油層への酸処理試験
…………… 上辻 良平・熊野 裕介・横井 悟 (石油資源)
- 15:00 ~ 15:10 < 休 憩 >
- (8) 15:10 ~ 15:50 南桑山油田-アスファルテン析出の生産障害とその対策…………… 上谷 高明 (国際帝石)
- (9) 15:50 ~ 16:30 オイルサンドの開発手法とその評価
…………… 加藤 広大・遠藤 健司・中川 裕幸 (石油資源)・中村 常太 (Japan Canada Oil Sands)
- 16:30 ~ 16:40 閉会の辞…………… 松原 修 (JOGMEC)

地質・探鉱部門 個人講演(1)

平成 25 年 6 月 28 日(金) センター棟 309号室

- (1) 09:30 ~ 09:50 7年目を迎える地質の調査研修(4泊5日)の概要と期待される効能について
..... 徳橋 秀一 (産総研)
- (2) 09:50 ~ 10:10 房総半島南東部の安房層群を切るトランスファー断層の発見
... 山中 克正・平田 郁生 (京大・理)・佐藤 活史・山路 敦 (京大院・理)・徳橋 秀一 (産総研)
- 10:10 ~ 10:30 < 休 憩 >
- (3) 10:30 ~ 10:50 PETROLEUM SYSTEM MODELING OF SOUTHWESTERN ULLEUNG BASIN,
OFFSHORE SOUTHEASTERN KOREA Byeong-Kook Son (KIGAM)
- (4) 10:50 ~ 11:10 前弧堆積盆の形態・堆積バリエーションと石油システムポテンシャル
..... 高野 修 (石油資源)
- 11:10 ~ 12:00 <ポスターセッション コアタイム>
12:00 ~ 13:00 < 昼 食 >
- (5) 13:00 ~ 13:20 常磐沖堆積盆地下部中新統における坑井物理検層を用いた堆積サイクル解析
..... 古内 薫・荒戸 裕之 (国際帝石)
- (6) 13:20 ~ 13:40 デルタ：陸源成砕屑物の運搬中継基地としての機能..... 本田 博巳 (京大院・工)
- 13:40 ~ 14:00 < 休 憩 >
- (7) 14:00 ~ 14:20 スランプもどきタービダイトとは何か？
-いわゆるスランプ堆積物の成因についての新しい見方について-..... 徳橋 秀一 (産総研)
- (8) 14:20 ~ 14:40 頁岩中の間隙構造の観察..... 陳 友晴・鈴木 拓馬・楠田 啓 (京大院・エネルギー科学)
- (9) 14:40 ~ 15:00 ガボン共和国沖合鉱区の掘削結果に基づく地化学分析の検討
..... 森 良太・小出 和正・大友 隆史 (三菱商事石開)
- 15:00 ~ 15:20 <石油技術協会 優秀発表賞 表彰式>
- (10) 15:20 ~ 15:40 ベースンモデリングによるクーパーベースン二畳系のシェールガスポテンシャル予察
..... 熊田 祐子・秋久 國男 (JOGMEC)
- (11) 15:40 ~ 16:00 我が国炭田堆積盆におけるシェールガス・シェールオイルのポテンシャル
..... 鈴木 祐一郎 (産総研)

地質・探鉱部門 個人講演(2)

平成 25 年 6 月 28 日(金) センター棟 310 号室

- (1) 09:30 ~ 09:50 アーチェリーと石油探鉱…………… 井上 正澄 (JX 日鉱日石開発)
- (2) 09:50 ~ 10:10 フェルミ推定で占う資源の将来…………… 井上 正澄 (JX 日鉱日石開発)
- 10:10 ~ 10:30 < 休 憩 >
- (3) 10:30 ~ 10:50 伊豆南部下田周辺の白浜石灰岩の岩相と貯留岩性状について
…………… 八木 正彦・島津 崇・高橋 孝志 (石油資源)・柳本 裕 (柳本コンサルタント)
- 11:10 ~ 12:00 <ポスターセッション コアタイム>
- 12:00 ~ 13:00 < 昼 食 >
- (4) 13:00 ~ 13:20 長岡CCS実証サイト貯留層の地質不均質性とCO₂挙動の関係性 …… 千代延 俊・中島 崇裕・薛 自求 (RITE)
- (5) 13:20 ~ 13:40 ケーススタディ、3D地震探査と AI インバージョンを用いたイラク・ガラフ油田ミシユリフ層の貯留層解析
…………… 東 倫生・守屋 俊治 (石油資源)・カマル エンボン・ハイラル アズハー・ファイザル ヒシャム・
ハイラル ハーフイス・サムスル バリ・アレクサンドル タラン (ペトロナスチャリガリ)
- 13:40 ~ 14:00 < 休 憩 >
- (6) 14:00 ~ 14:20 マルチスケール・マルチモード型反射法地震探査データによる深部構造イメージングの高精度化
…………… 阿部 進 (地科研)・佐藤 比呂志 (東大・地震研)・斉藤 秀雄・白石 和也 (地科研)・
田中 智之 (石油資源)・松浦 紳二 (国際帝石)・石山 達也・加藤 直子 (東大・地震研)・河合 展夫 (地科研)
- (7) 14:20 ~ 14:40 北部フォッサマグナ横断地殻構造探査
…………… 佐藤 比呂志 (東大・地震研)・白石 和也 (地科研)・石山 達也・加藤 直子・
蔵下 英司 (東大・地震研)・阿部 進 (地科研)・稲葉 充 (石油資源)・岩崎 貴哉 (東大・地震研)・
川本 友久 (国際帝石)・武田 哲也 (防災科学技術研)
- (8) 14:40 ~ 15:00 南関東ガス田における地下微生物の特徴とメタン生成活性
…………… 吉岡 秀佳・片山 泰樹・坂田 将 (産総研) 村本 良幸・宇佐美 潤 (関東天然瓦斯)
- 15:00 ~ 15:20 < 休 憩 >
- (9) 15:20 ~ 15:40 地球深部探査船「ちきゅう」による下北八戸沖石炭層生命圏掘削 (IODP 第 337 次研究航海)：結果速報と展望
…………… 稲垣 史生 (JAMSTEC)・Kai-Uwe Hinrichs (プレーメン大)・久保 雄介 (JAMSTEC)・
IODP 第 337 次研究航海乗船研究者一同
- (10) 15:40 ~ 16:00 IODP 第 337 次研究航海「下北八戸沖石炭層生命圏調査」のオペレーション概要 …… 真田 佳典・久保 雄介・
稲垣 史生 (JAMSTEC)・Kai-Uwe Hinrichs (プレーメン大)・IODP 第 337 次乗船研究者
- (11) 16:00 ~ 16:20 地球深部探査船「ちきゅう」による下北八戸沖石炭層生命圏掘削 (IODP 第 337 次研究航海)：地質・検層結果概要
…………… 山田 泰広 (京大院・工)・真田 佳典・久保 雄介 (JAMSTEC)・Kai-Uwe Hinrichs (プレーメン大)・
IODP 第 337 次乗船研究者

地質・探鉱部門 個人講演(ポスター発表)

平成 25 年 6 月 28 日(金) センター棟 304号室(コアタイム 11:10 ~ 12:00)

- (1) Origin of Crude Oil and Condensates from Surma Basin, North-Eastern Bangladesh.
..... Md. Ashique Hossain · Noriyuki SUZUKI · Kohei Matsumoto (Hokkaido Univ.) ·
Nobuaki Sato (MOECO) · Nobuyori Takeda (JGI)
- (2) Origin of desorbed coalbed gas from Middle to Late Miocene coals in Kutei Basin, Indonesia
..... Ario Budi Wicaksono · Noriyuki Suzuki · Hiroyuki Saito ·
Koji Takahashi (Hokkaido Univ.) · Imam B. Sosrowidjojo (LEMIGAS)
- (3) THE DIVERSITY OF N-ALKANE DISTRIBUTION AND POSSIBLE MIGRATION
FRACTIONATION OF OILS IN KUTEI BASIN, INDONESIA
..... Ratna T. Murwani · Noriyuki Suzuki (Hokkaido Univ.) · Imam B. Sosrowidjojo (LEMIGAS)
- (4) Source Rock Potential of Some Mesozoic Sediments from Gulf of Mannar Basin,
Offshore Sri Lanka Upul Premarathne (Hokkaido Univ.)
- (5) 秋田県由利原油・ガス田に分布する玄武岩貯留岩のNMRによる孔隙特性
.....小寺 貴士(秋大院・工学資源学/現JGOMEC)・内田 隆・西川 治(秋大院・工学資源学)・
皆川 秀紀(産総研)・佐々木 理(東北大院・理)・鹿納 晴尚(東北大・学術資源研究公開センター)

作井部門 個人講演

平成 25 年 6 月 28 日(金) センター棟 416号室

- (1) 09:00～09:20 ガボン共和国ポージェンティー沖合における試掘井掘削作業の成功例
..... 柏木 祐・中居 敬之・柏倉 一弥 (三菱商事石開)
- (2) 09:20～09:40 インドネシア離島における試掘オペレーションの紹介
..... 樋口 和敬・西野 卓也 (石油資源)
- (3) 09:40～10:00 「ちきゅう」による JFAST (東北地方太平洋沖地震調査掘削) 掘削概要について
..... 高瀬 弘次・澤田 郁郎・猿橋 具和 (JAMSTEC)
- (4) 10:00～10:20 第1回メタンハイドレート海洋産出試験井のセメンチング作業について
..... 賤機 啓輔 (石油資源)
- 10:20～10:30 < 休 憩 >
- (5) 10:30～10:50 降伏強度を超えたケーシング管の引張圧縮安定解析
..... 塩澤 壮吾・森田 信男 (早大・創造理工)
- (6) 10:50～11:10 生分解性樹脂を用いた環境配慮型の逸泥防止剤の開発
..... 松井 仁志・吉村 浩一・森田 信男 (早大院・創造理工)
- (7) 11:10～11:30 地下水質の連続モニタリングによるCO₂漏出の検出について
..... 山城 輝久・Very Susanto・測上 雄貴・菅井 裕一・佐々木 久郎 (九大院・工)
- (8) 11:30～11:50 CO₂の漏出モニタリングシステムに関するパイロット試験
..... 測上 雄貴・菅井 裕一・佐々木 久郎 (九大院・工)・福馬 聡之・内藤 由和 (中外テクノス)
- 11:50～12:50 < 昼 食 >
- 12:50～13:00 < 石油技術協会 優秀発表賞 表彰式 >
- (9) 13:00～13:20 坑壁破壊現象における中間主応力の影響
..... 山本 晃司 (JOGMEC)・青柳 和平・石田 毅 (京大院・工)
- (10) 13:20～13:40 圧力減退した貯留層の帽岩内孔隙圧・地層歪変化のパラメータ解析
..... 森田 信男 (早大・創造理工)
- (11) 13:40～14:00 「ちきゅう」による Hybrid PCS (保圧コア) の使用実績
..... 水口 保彦・小林 照明・稲垣 史生 (JAMSTEC)・久保 智司・稲田 徳弘 (JOGMEC)
- (12) 14:00～14:20 掘削泥水の高温度環境への適用について
..... 伊藤 英樹・石川 佳孝・藤井 壘 (テルナイト)・堀 孝博 (石油資源)
- 14:20～14:40 < 休 憩 >
- (13) 14:40～15:00 JOGMEC 保有 掘削シミュレータのアップグレードについて 稲田 徳弘 (JOGMEC)
- (14) 15:00～15:20 シミュレーションソフトを用いた掘削エンジニアリングの実例 野村 亮二 (石油資源)
- (15) 15:20～15:40 Drill Ship 「ちきゅう」 BOP のコントロールシステムとサブシーエンジニア教育
..... 村上 龍太郎 (日本マントル・クエスト)
- 15:40～15:50 < 休 憩 >
- (16) 15:50～16:10 BP 社メキシコ湾原油流出事故以降の INPEX の取り組み 田村 満夫 (国際帝石)
- (17) 16:10～16:30 Macondo 事故が与えた API 改正のインパクト 石黒 裕康 (JDC)
- (18) 16:30～16:50 Well Capping 入会の経緯 山下 元・根本 哲也 (国際帝石)
- 16:50～17:00 閉会の辞 作井技術委員長 池田 正市 (国際帝石)

開発・生産部門 個人講演(1)

平成 25 年 6 月 28 日(金) センター棟 311号室

- (1) 09:00 ~ 09:20 ガス溶解度と溶解速度の相違によるCH₄-CO₂混合ガスの分離
.....吉木 勇二・佐々木 久郎・菅井 裕一(九大・工)・宮川 満(三井造船)
- (2) 09:20 ~ 09:40 スレッシュホールド圧力測定：段階昇圧法およびダイナミック法
.....川浦 慶・赤工浩平・中野正則・高橋孝志・切明畑 伸一(石油資源)
- (3) 09:40 ~ 10:00 高圧用粘度計の開発と重質油の粘度測定
.....江上 雄大・OR Chanmoly(九大院・工)・菅井 裕一・佐々木久郎(九大・工)・
中野 正則・今井 素直(石油資源)
- (4) 10:00 ~ 10:20 マイクロバブルを生成させたフォーミオイルの特性に関する実験
.....OR Chanmoly・佐々木 久郎・菅井 裕一(九大院・工)・中野 正則・今井 素直(石油資源)
- (5) 10:20 ~ 10:40 坑底原油試料採取中の坑内採取条件がアスファルテン析出分析結果へ与える影響
.....高林 克百・前田 治男(国際帝石)
- 10:40 ~ 10:50 < 休 憩 >
- (6) 10:50 ~ 11:10 NMR を用いたコア分析技術の研究
.....下河原 麻衣・三野 泰之(JOGMEC)
- (7) 11:10 ~ 11:30 ガラスビーズ充填層における水攻法時の空隙スケール現象の可視化
.....末包 哲也(東工大・総合理工)・アリエフ・セティアワン(徳島大)
- (8) 11:30 ~ 11:50 WAG 最適化に向けたコアフラッド実験
.....高野 可菜・中野 正則・高橋 孝志(石油資源)・金子 文憲(JPO)
- (9) 11:50 ~ 12:10 CO₂/デカン系における溶解と多孔質内流動の可視化
.....植村 豪・竹之内 啓佑・鈴木 雄大・福島 瑛介・
津島 将司・平井 秀一郎(東工大院・理工)
- (10) 12:10 ~ 12:30 イオンクロマトグラフィーによる地層水中の硫酸イオンの分析
.....渋谷 健広・大塚 町恵・金田 英伯(国際帝石)・野々村 誠(環境技術評価研)
- 12:30 ~ 13:40 < 昼 食 >
- (11) 13:40 ~ 14:00 封圧下石灰岩および花崗岩フラクチャーにおける油-水相対浸透率曲線の評価
.....櫻井 圭介・渡邊 則昭・石橋 琢也・土屋 範芳(東北大院・環境科学)
大崎 豊・八木 正彦・玉川 哲也(石油資源)
- (12) 14:00 ~ 14:20 石灰岩フラクチャーの浸透率の時間発展に関する実験的検討と M-C 連成モデリング
.....石橋 琢也・渡邊 則昭・土屋 範芳(東北大院・環境科学)
Thomas P. McGuire・Derek Elsworth(ペンシルバニア州立大)
- (13) 14:20 ~ 14:40 可視化モデルによるフラクチャー内での油掃攻撃動の観察
.....千歳 翔大・村田 澄彦・樽井 直良(京大院・工)・
赤井 崇嗣・高木 是(JOGMEC)
- (14) 14:40 ~ 15:00 二酸化炭素や水による花崗岩の水圧破碎実験
.....永谷 侑也(京大院・工)・乾 周平(京大・工)・
奈良 禎太・石田 毅(京大院・工)・陳 友晴(京大院・エネルギー)・中山 芳樹(3D地球学研)
- (15) 15:00 ~ 15:20 シェールコアを用いた水圧破碎の亀裂の進展実験
.....Bennour Ziad・富田 和秀・永谷 侑也・石田 毅(京大院・工)・
鈴木 拓馬・陳 友晴・楠田 啓(京大院・エネルギー)・関根 孝太郎(JOGMEC)・
陳 渠樹(3D地球学研)
- 15:20 ~ 15:30 < 休 憩 >
- (16) 15:30 ~ 15:50 N₂-CO₂混合ガス圧入法によるメタンハイドレートからのガス生産挙動予測
.....安江 正宏・山本 康平・増田 昌敬(東大院・工)・長尾 二郎(産総研・MH)
- (17) 15:50 ~ 16:10 多孔質媒体内の CO₂-水エマルジョンの流動とハイドレート生成に関する実験的考察
.....佐々木 貴史・岡 遼馬・増田 昌敬・長縄 成実・荒川 英一(東大院・工)
長尾 二郎(産総研・MH)
- (18) 16:10 ~ 16:30 メタンハイドレート増進回収を目的とした CO₂-水エマルジョン圧入法の流動計算
.....三宅 奨・牧 賢志・増田 昌敬・長縄 成実(東大院・工)長尾 二郎(産総研・MH)
- (19) 16:30 ~ 16:50 強減圧法によるメタンハイドレート増進回収
.....今野 義浩・神 裕介・長尾 二郎(産総研・MH)

開発・生産部門 個人講演(2)

平成 25 年 6 月 28 日(金) センター棟 402号室

- (1) 09:00 ~ 09:20 タイトなフラクチャー型貯留層における分子拡散の及ぼす影響
..... 今井 素直・中野 正則 (石油資源)
- (2) 09:20 ~ 09:40 EOR の為の CO₂、CH₄- アスファルテン系に関する分子動力学シミュレーション
..... 田神 加奈子・三上 陽平・梁 云峰・松岡 俊文 (京大院・工)・高橋 悟 (JOGMEC)
- (3) 09:40 ~ 10:00 分子動力学シミュレーションを用いた NMR 緩和時間の解明
..... 叡谷 暢仁・梁 云峰・松岡 俊文 (京大院・工)・下河原 麻衣・高橋 悟 (JOGMEC)
- (4) 10:00 ~ 10:20 油-水界面におけるアスファルテンの凝集
..... 三上 陽平 (京大院・工/現 三井石開)・松岡 俊文・梁 云峰 (京大院・工)・
高橋 悟 (JOGMEC)
- (5) 10:20 ~ 10:40 二相系格子ボルツマン法を用いた濡れ性の検討
..... 今泉 昂憲・山邊 浩立・梁 云峰・松岡 俊文 (京大院・工)
- 10:40 ~ 10:50 < 休 憩 >
- (6) 10:50 ~ 11:10 2 種類のアルカン混合系における気液液平衡状態の推定
..... 岩崎 哲士・梁 云峰・松岡 俊文 (京大院・工)・高橋 悟 (JOGMEC)
- (7) 11:10 ~ 11:30 Adaptive Local-Global Multiphase Upscaling (ALGMP) 法を用いたコンデンセートバンキング用
アップスケーリングプログラムの開発
.....飯塚 諒・池田 修一郎 (国際帝石)・船津 邦浩・赤嶺 耕也・中島 千博 (JOE)
- (8) 11:30 ~ 11:50 多点相関統計学および遺伝的アルゴリズムを用いた貯留層モデルの精度向上
..... 宮田 淳 (早大院・創造理工)・栗原 正典 (早大・創造理工)・山田 知己 (石油資源)
- (9) 11:50 ~ 12:10 原位置燃焼法による重質油生産のための反応速度モデルの最適化
..... 吉岡 雄太 (九大院・工)・佐々木久郎・菅井裕一 (九大・工)・中野 正則 (石油資源)
- (10) 12:10 ~ 12:30 若手油層技術者のための汎用 PC による超高速並列コンピューティング
..... 今井 素直・中野 正則 (石油資源)
- 12:30 ~ 13:40 < 昼 食 >
- (11) 13:40 ~ 14:00 CO₂ 圧入リスクを考慮した CCS システムに対する経済性評価
..... 鈴木 陽洋・佐々木 久郎・菅井 裕一 (九大院・工)
- (12) 14:00 ~ 14:20 油層由来の硫酸塩還元菌の増殖および硫化水素生成挙動の数式化
..... 大脇 幸博・菅井 裕一・佐々木 久郎 (九大院・工) 金子 文憲・酒井 拓馬 (JPO)
- (13) 14:20 ~ 14:40 東新潟地域水溶性天然ガス田の開発に伴う地盤沈下の評価
..... 松田 大樹 (九大院・工)・藤井 光 (秋大院・工学資源)・満田 信一 (三菱ガス化学)
- (14) 14:40 ~ 15:00 溶解ガスの遊離化に起因する茂原型ガス産出挙動
..... 西坂 薫・尾西 恭亮 (秋大院・工学資源)
- (15) 15:00 ~ 15:20 アラスカ・ノーススロープにおけるメタンハイドレート産出実証試験プロジェクト
..... 大槻 敏・赤坂 千寿・吉澤 実 (JOGMEC)
- 15:20 ~ 15:30 < 休 憩 >
- (16) 15:30 ~ 15:50 シェール革命とは何か：石油工学者の視点..... 伊原 賢 (JOGMEC)
- (17) 15:50 ~ 16:10 二相状態の坑底流体試料に基づく真の貯留層流体成分の推定
..... 海藤 佑太郎 (早大院・創造理工)・栗原 正典 (早大・創造理工)・
今井 素直 (石油資源)
- (18) 16:10 ~ 16:30 試掘井における、リアルタイム掘削流体分析サービスの有用性
..... 柴 震杰・白井 星至・安河内 貫・泉 健太・内村 竜一・上岡 慎 (JX日鉱日石マレーシア石開)
- (19) 16:30 ~ 16:50 光ファイバーセンシングによる坑井近傍の地層安定性モニタリング手法の開発
..... 小暮 哲也・薛 自求 (RITE)

講演会会場案内図

	東京 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟 3階・4階						
	309号室	310号室	416号室	311号室	402号室	304号室	307号室
6月27日 (木)		地質・探鉱 シンポジウム 9:30～17:15	作井 シンポジウム 9:00～17:00	開発・生産 シンポジウム 9:00～16:40			総合受付 (事務局)
6月28日 (金)	地質・探鉱 個人講演(1) 9:30～16:00	地質・探鉱 個人講演(2) 9:30～16:20	作井 個人講演 9:00～17:00	開発・生産 個人講演(1) 9:00～16:50	開発・生産 個人講演(2) 9:00～16:50	地質・探鉱 ポスター発表 11:10～12:00	

